

2017年度 課題研究成果発表会

発表会の流れ

①「要旨」提出・印刷 10分

※この間に発表準備

②研究班ごとに発表 5分×8＝40分

※ここでは質疑応答は行わない。5分経過したら終了（延長はしない）

※発表を聞きながら「コメントシート」に記入する。

③質疑応答 3分×8＝24分

各研究班から1名ずつが集まり、8人のグループを5つ作る。

研究班ごとに3分間の持ち時間で質疑応答を行う（8つの研究班の合計で24分間）。

※「質問」だけではなく「コメント」でもよい。

※研究の質を向上させる目的での対話を心がけること。

※コメントシートもここで回収する。

④グループでの振り返り

再度、課題研究の研究班に戻る。

質疑応答で出した内容をグループでシェアする。

※各グループでの振り返りを基に、「振り返りシート」を提出。

プレゼンに関して

●プロジェクター使用可能。スライドや写真を使用しての発表をするグループは事前に教員に相談すること。

●発表形式は自由

プレゼンを行う際のポイント

●何よりも「相手に伝わる」プレゼンを心がける。

●「必要なことを詰め込んで話し切る」ことよりも、「本当に伝えたいことをポイントを押さえて伝える」ことを意識する。

●聴衆を置き去りにせず、一つ一つの展開を丁寧に行う。

●「研究のテーマ」を軸に構成する（“幹”と“枝”を明瞭に区別する）。

※「立派な結果」ではなく、「思考の道筋」が伝わるようなプレゼンを心がけてください。

プレゼンを聞く際のポイント

●相手のプレゼンに対して「いいツッコミ」を入れる。

●「いい部分」は積極的に盗む。

●「どうしたらこのプレゼンはよくなるか」という意識で聞き、建設的な意見をできる限りたくさん出す。

研究要旨について

●課題研究発表会当日の授業開始時に回収

●A4レポート用紙1枚（厳守！）

※片面のみ（両面不可）

※印刷して、全員に配布、資料として使ってもらいます。

※余白を上下左右、それぞれ最低20mmはとること。

※PCから印刷する場合にはレポート用紙でなくてもA4用紙であれば可

●研究の概要が伝わるようにまとめる（以下のような内容があるとよい）。

テーマ（中心となる「問い」）

テーマ設定の理由

仮説

仮説検証のための実験・観察

結果

考察

まとめ

評価基準

| | A | B | C |
|-----------|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| テーマの設定 | 独創的かつ興味深い本質的な問いが設定できている。 | 結果が予想できない興味深い問いが設定できている。 | 問いは設定できているが、新しい発見の要素が少ない。 |
| 仮説の設定 | 問いに対して妥当性があり、十分練られた仮説である。 | 問いに対して妥当性のある仮説である。 | 問いに対して妥当性が低い仮説である。 |
| 実験・観察 | 独創的なアイデアがあり、十分練られた上で実験・観察が実施されている。 | 仮説の検証のために妥当な実験・観察が実施されている。 | 現実的に可能で、かつ仮説を検証可能な実験・観察が立っていない。 |
| 結果 | 仮説検証のための十分なデータが取れている。 | 不十分な点もあるが、仮説検証に必要なデータがとれている。 | 仮説検証に必要なデータがとれていない。 |
| 考察 | 結果に基づいて、十分な考察があれ、仮説検証がされている。 | 結果に基づいて、考察があれ、仮説の一部について検証がされている。 | 結果に基づいた考察がされていない。 |
| まとめ | 研究の全体像がわかりやすくまとまっている。 | 研究の全体像がまとまっている。 | 研究の全体像がまとまっていない。 |
| 情報収集 | 信頼性の高い複数の情報源から情報を得ている。 | 信頼性の高い情報源から情報を得ている。 | 信頼性の低い情報源からのみ情報を得ている。 |
| プレゼンテーション | 聴衆の興味を引出し、大きな魅力がある。 | 聴衆の興味を引出せている。 | 聴衆の興味を引出せていない。 |

課題研究ノートについて

●コメントシートを基に、「数値評価の集計」、「コメントのまとめ」をする。

●「振り返りシート」を、ノートに貼っておく。

コメントシート

対象【 】班

評価者： _____

| | A | B | C |
|-----------|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| テーマの設定 | 独創的かつ興味深い本質的な問いが設定できている。 | 結果が予想できない興味深い問いが設定できている。 | 問いは設定できているが、新しい発見の要素が少ない。 |
| 仮説の設定 | 問いに対して妥当性があり、十分練られた仮説である。 | 問いに対して妥当性のある仮説である。 | 問いに対して妥当性が低い仮説である。 |
| 実験・観察 | 独創的なアイデアがあり、十分練られた上で実験・観察が実施されている。 | 仮説の検証のために妥当な実験・観察が実施されている。 | 現実的に可能で、かつ仮説を検証可能な実験・観察が立っていない。 |
| 結果 | 仮説検証のための十分なデータが取れている。 | 不十分な点もあるが、仮説検証に必要なデータがとれている。 | 仮説検証に必要なデータがとれていない。 |
| 考察 | 結果に基づいて、十分な考察があれ、仮説検証がされている。 | 結果に基づいて、考察があれ、仮説の一部について検証がされている。 | 結果に基づいた考察がされていない。 |
| まとめ | 研究の全体像がわかりやすくまとまっている。 | 研究の全体像がまとまっている。 | 研究の全体像がまとまっていない。 |
| 情報収集 | 信頼性の高い複数の情報源から情報を得ている。 | 信頼性の高い情報源から情報を得ている。 | 信頼性の低い情報源からのみ情報を得ている。 |
| プレゼンテーション | 聴衆の興味を引出し、大きな魅力がある。 | 聴衆の興味を引出せている。 | 聴衆の興味を引出せていない。 |

※裏面に自由記述をしてください（良かった点、アドバイス、感想etc…）**コメントシート**

対象【 】班

評価者： _____

| | A | B | C |
|-----------|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| テーマの設定 | 独創的かつ興味深い本質的な問いが設定できている。 | 結果が予想できない興味深い問いが設定できている。 | 問いは設定できているが、新しい発見の要素が少ない。 |
| 仮説の設定 | 問いに対して妥当性があり、十分練られた仮説である。 | 問いに対して妥当性のある仮説である。 | 問いに対して妥当性が低い仮説である。 |
| 実験・観察 | 独創的なアイデアがあり、十分練られた上で実験・観察が実施されている。 | 仮説の検証のために妥当な実験・観察が実施されている。 | 現実的に可能で、かつ仮説を検証可能な実験・観察が立っていない。 |
| 結果 | 仮説検証のための十分なデータが取れている。 | 不十分な点もあるが、仮説検証に必要なデータがとれている。 | 仮説検証に必要なデータがとれていない。 |
| 考察 | 結果に基づいて、十分な考察があれ、仮説検証がされている。 | 結果に基づいて、考察があれ、仮説の一部について検証がされている。 | 結果に基づいた考察がされていない。 |
| まとめ | 研究の全体像がわかりやすくまとまっている。 | 研究の全体像がまとまっている。 | 研究の全体像がまとまっていない。 |
| 情報収集 | 信頼性の高い複数の情報源から情報を得ている。 | 信頼性の高い情報源から情報を得ている。 | 信頼性の低い情報源からのみ情報を得ている。 |
| プレゼンテーション | 聴衆の興味を引出し、大きな魅力がある。 | 聴衆の興味を引出せている。 | 聴衆の興味を引出せていない。 |

※裏面に自由記述をしてください（良かった点、アドバイス、感想etc…）

コメントシート

対象【 】班

評価者： _____

| | A | B | C |
|-----------|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| テーマの設定 | 独創的かつ興味深い本質的な問いが設定できている。 | 結果が予想できない興味深い問いが設定できている。 | 問いは設定できているが、新しい発見の要素が少ない。 |
| 仮説の設定 | 問いに対して妥当性があり、十分練られた仮説である。 | 問いに対して妥当性のある仮説である。 | 問いに対して妥当性が低い仮説である。 |
| 実験・観察 | 独創的なアイデアがあり、十分練られた上で実験・観察が実施されている。 | 仮説の検証のために妥当な実験・観察が実施されている。 | 現実的に可能で、かつ仮説を検証可能な実験・観察が立っていない。 |
| 結果 | 仮説検証のための十分なデータが取れている。 | 不十分な点もあるが、仮説検証に必要なデータがとれている。 | 仮説検証に必要なデータがとれていない。 |
| 考察 | 結果に基づいて、十分な考察があれ、仮説検証がされている。 | 結果に基づいて、考察があれ、仮説の一部について検証がされている。 | 結果に基づいた考察がされていない。 |
| まとめ | 研究の全体像がわかりやすくまとまっている。 | 研究の全体像がまとまっている。 | 研究の全体像がまとまっていない。 |
| 情報収集 | 信頼性の高い複数の情報源から情報を得ている。 | 信頼性の高い情報源から情報を得ている。 | 信頼性の低い情報源からのみ情報を得ている。 |
| プレゼンテーション | 聴衆の興味を引出し、大きな魅力がある。 | 聴衆の興味を引出せている。 | 聴衆の興味を引出せていない。 |

※裏面に自由記述をしてください（良かった点、アドバイス、感想etc…）**コメントシート**

対象【 】班

評価者： _____

| | A | B | C |
|-----------|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| テーマの設定 | 独創的かつ興味深い本質的な問いが設定できている。 | 結果が予想できない興味深い問いが設定できている。 | 問いは設定できているが、新しい発見の要素が少ない。 |
| 仮説の設定 | 問いに対して妥当性があり、十分練られた仮説である。 | 問いに対して妥当性のある仮説である。 | 問いに対して妥当性が低い仮説である。 |
| 実験・観察 | 独創的なアイデアがあり、十分練られた上で実験・観察が実施されている。 | 仮説の検証のために妥当な実験・観察が実施されている。 | 現実的に可能で、かつ仮説を検証可能な実験・観察が立っていない。 |
| 結果 | 仮説検証のための十分なデータが取れている。 | 不十分な点もあるが、仮説検証に必要なデータがとれている。 | 仮説検証に必要なデータがとれていない。 |
| 考察 | 結果に基づいて、十分な考察があれ、仮説検証がされている。 | 結果に基づいて、考察があれ、仮説の一部について検証がされている。 | 結果に基づいた考察がされていない。 |
| まとめ | 研究の全体像がわかりやすくまとまっている。 | 研究の全体像がまとまっている。 | 研究の全体像がまとまっていない。 |
| 情報収集 | 信頼性の高い複数の情報源から情報を得ている。 | 信頼性の高い情報源から情報を得ている。 | 信頼性の低い情報源からのみ情報を得ている。 |
| プレゼンテーション | 聴衆の興味を引出し、大きな魅力がある。 | 聴衆の興味を引出せている。 | 聴衆の興味を引出せていない。 |

※裏面に自由記述をしてください（良かった点、アドバイス、感想etc…）

課題研究発表会評価シート

クラス・番号（4桁で記入） _____ 氏名： _____

プレゼンテーションの優れていたグループ（3つ）

【 】 班

【 】 班

【 】 班

研究の内容の優れていたグループ（3つ）

【 】 班

【 】 班

【 】 班

課題研究発表会評価シート

クラス・番号（4桁で記入） _____ 氏名： _____

プレゼンテーションの優れていたグループ（3つ）

【 】 班

【 】 班

【 】 班

研究の内容の優れていたグループ（3つ）

【 】 班

【 】 班

【 】 班

課題研究発表会評価シート

クラス・番号（4桁で記入） _____ 氏名： _____

プレゼンテーションの優れていたグループ（3つ）

【 】 班

【 】 班

【 】 班

研究の内容の優れていたグループ（3つ）

【 】 班

【 】 班

【 】 班

課題研究発表会評価シート

クラス・番号（4桁で記入） _____ 氏名： _____

プレゼンテーションの優れていたグループ（3つ）

【 】 班

【 】 班

【 】 班

研究の内容の優れていたグループ（3つ）

【 】 班

【 】 班

【 】 班